

## (5) 東海



東海地域では、景気は持ち直しの動きが緩やかになっている。

- ・ 鉱工業生産は緩やかに減少している。
- ・ 個人消費はおおむね横ばいとなっている。
- ・ 雇用情勢は依然として厳しい状況だが、持ち直しの動きが続いている。

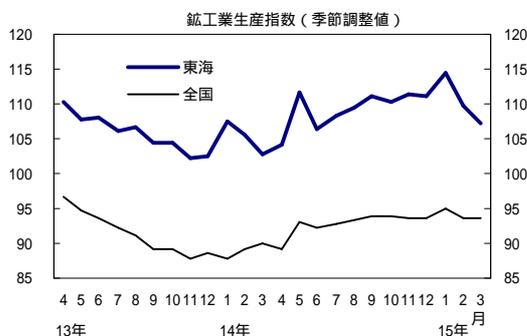
### 前回調査からの主要変更点

|       | 前回 (平成 15 年 2 月)            | 今回 (平成 15 年 5 月)           |
|-------|-----------------------------|----------------------------|
| 景況判断  | 持ち直しの動きが続いている               | 持ち直しの動きが緩やかになっている          |
| 鉱工業生産 | 増加                          | 緩やかに減少                     |
| 住宅建設  | 減少                          | 緩やかに減少                     |
| 雇用情勢  | 依然として厳しい状況だが、持ち直しの動きが強まっている | 依然として厳しい状況だが、持ち直しの動きが続いている |

## 1. 生産及び企業動向

### (1) 鉱工業生産は緩やかに減少している。

輸送機械は、自動車の国内向けが小型車を中心に動きが続いているものの、これまで全体をけん引してきた輸出が減少しており、全体では高水準ながら足踏みとなっている。一般機械は、土木建設機械が公共工事の減少等により低迷しているものの、金属工作機械では輸出向け、国内向け共に自動車関連が引き続き動いている。電気機械は、家電や電子計算機・同関連装置が弱含みとなっているものの、半導体集積回路がデジタルカメラ需要などに支えられ高水準横ばいとなっていること等から、全体でも横ばいとなっている。窯業・土石は、陶磁器の生産が低調であり、ファインセラミックスも弱含みとなっていることから、全体でも減少している。化学は、自動車向けを中心に動いているものの、輸出向けの汎用樹脂に生産調整の動きがみられ、全体では足踏みとなっている。



### 域内主要業種の動向(季節調整値、前期比増減率) (%)

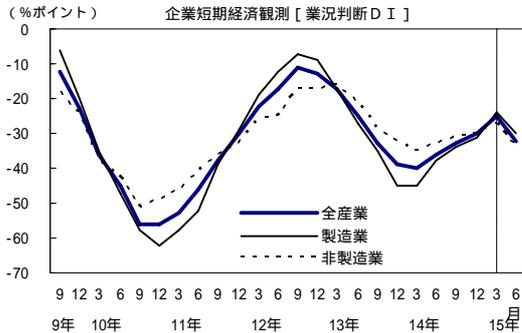
|       | 付加価値<br>ウェイト | 生産          |           | 出荷        | 在庫        |
|-------|--------------|-------------|-----------|-----------|-----------|
|       |              | 10~12<br>月期 | 1~3<br>月期 | 1~3<br>月期 | 1~3<br>月期 |
| 輸送機械  | 30.3         | 3.6         | 1.9       | 2.3       | 14.7      |
| 一般機械  | 11.4         | 4.5         | 4.0       | 0.7       | 3.3       |
| 電気機械  | 11.2         | 1.8         | 1.2       | 1.2       | 15.4      |
| 窯業・土石 | 7.3          | 5.0         | 5.9       | 8.4       | 0.0       |
| 化学    | 5.7          | 2.3         | 0.7       | 0.3       | 0.9       |
| 鉱工業   | 100.0        | 1.4         | 0.5       | 0.8       | 0.9       |

(備考) 1. 地域における付加価値ウェイトの高い15業種。

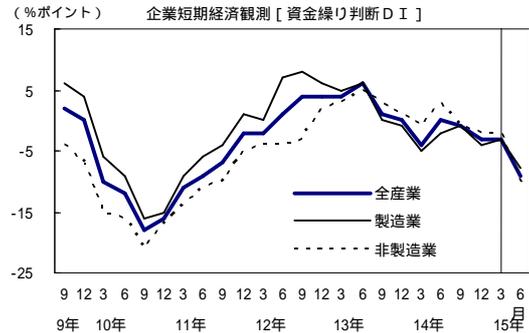
2. 生産指数は東海、出荷、在庫指数は中部。

(備考) 東海は平成7年基準(左目盛)、全国は平成12年基準(右目盛)。

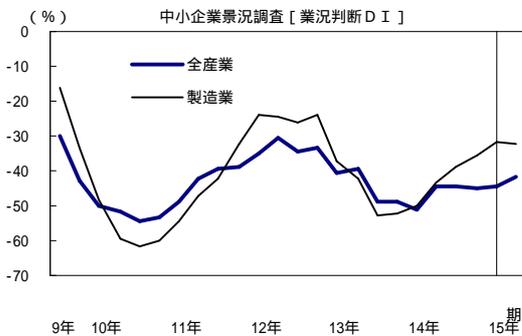
(2) 企業動向の業況判断は「悪い」超幅が縮小し、資金繰り判断は「苦しい」超幅が横ばいとなっている。  
 企業短期経済観測調査 [ 業況判断D I、資金繰り判断D I ] 及び中小企業景況調査 [ 業況判断D I ]



(備考)「良い」-「悪い」回答者数構成比。15年6月は予測。



(備考)「楽である」-「苦しい」回答者数構成比。15年6月は予測。



(備考)「好転」-「悪化」回答者数構成比。15年 期は見通し。  
 中部地区のD I。

景気ウォッチャー調査 (4月調査) [ 企業動向関連 (現状判断) ]

「古いミシンの使い方に関する問い合わせが目立っており、廃業工場から中古機を入手する客が増加したものと考える (電気機械器具製造業)」など、「変わらない」とする回答が多くみられた。

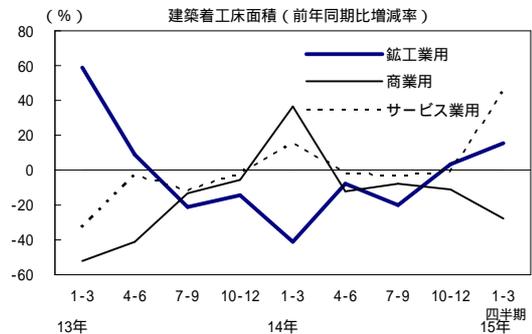
(3) 設備投資の14年度実績見込みは13年度実績とほぼ同水準になっている。

企業短期経済観測調査 [ 設備投資 (3月調査) ]

(前年度比増減率、単位：%)

|      | 14年度実績見込み   | 15年度見極 |
|------|-------------|--------|
| 全産業  | 1.6 [ 0.8 ] | 1.4    |
| 製造業  | 1.1 [ 0.8 ] | 1.6    |
| 非製造業 | 2.0 [ 2.1 ] | 1.3    |

(備考) [ ]は前回(12月)調査結果。



## 2. 需要の動向

(1) 個人消費はおおむね横ばいとなっている。

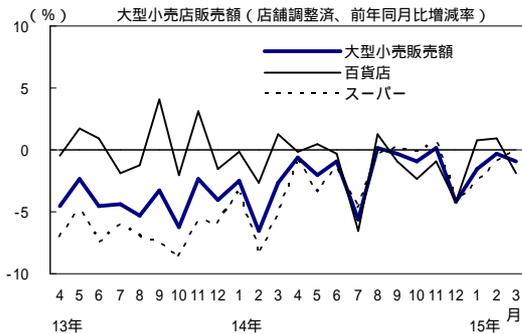
### 大型小売店販売額及び乗用車新規登録・届出台数

百貨店は、1月及び2月は衣料品が婦人服・子供服・洋品を中心に好調で、飲食料品も底固く推移したこと等から、全体では2か月連続で前年を上回った。3月は飲食料品が引き続き好調で前年を上回り、一部店舗では増床効果があったものの、気温が低めに推移したことで春物を中心に衣料品が低調で、全体では前年を下回った。

スーパーは、期間を通じて飲食料品が底固く推移したものの、婦人服・子供服・洋品を中心に衣料品が振るわず、全体でも前年を下回って推移した。

### 景気ウォッチャー調査(4月調査)[家計動向関連D I (現状判断)]

「客の購買意欲は低く、シーズン初期に定価で購入する客が減少しており、購入点数も減っている。バーゲン商品への購買意欲も悪い(衣料品専門店)」など、「変わらない」とする回答が多くみられた。

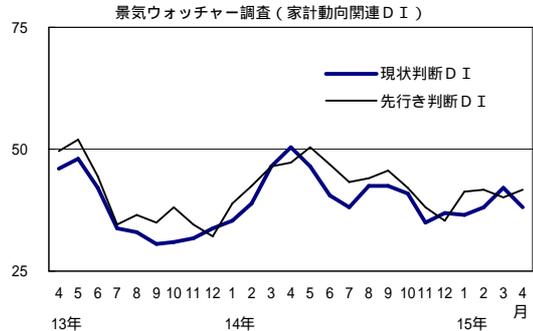
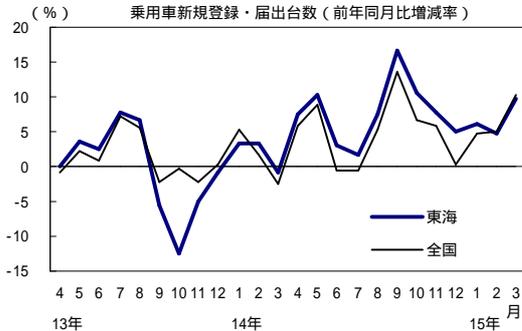


(前年同期比増減率、単位：%)

|          | 14年4-6月 | 7-9月 | 10-12月 | 15年1-3月 |
|----------|---------|------|--------|---------|
| 大型小売店    | 1.3     | 2.2  | 1.9    | 1.0     |
| 百貨店      | 0.0     | 2.8  | 2.7    | 0.2     |
| スーパー     | 2.0     | 1.8  | 1.3    | 1.4     |
| 乗用車      | 6.5     | 8.6  | 7.7    | 7.3     |
| 景気ウォッチャー | 45.8    | 40.8 | 37.6   | 39.0    |

(備考) 1. 大型小売店販売額は店舗調整済。中部地区の値。

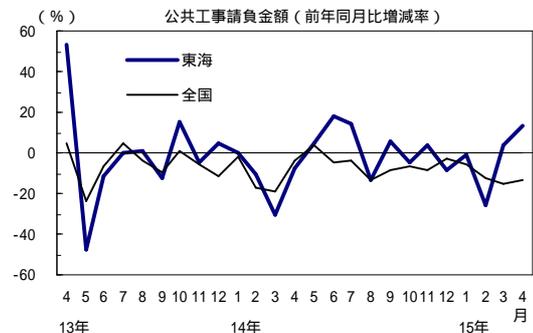
2. 景気ウォッチャー調査の数値は家計動向関連の現状判断D Iの3か月単純平均。



(2) 住宅建設は緩やかに減少している。

持家と貸家が前年を上回ったものの、分譲が前年を下回ったことから、全体では緩やかに減少している。

(3) 公共投資は14年度累計でみると13年度とほぼ同水準になっている。

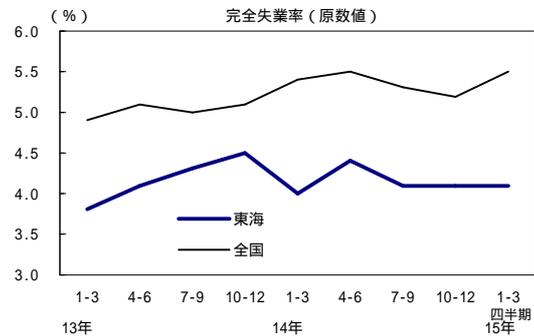
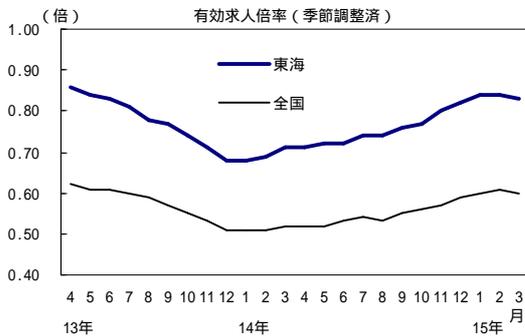


### 3. 雇用情勢等

(1) 雇用情勢は依然として厳しい状況だが、持ち直しの動きが続いている。

有効求人倍率及び完全失業率

有効求人倍率はおおむね横ばいとなっている。完全失業率は前年同期とほぼ同水準にある。



景気ウォッチャー調査(4月調査)[雇用関連(現状判断)]

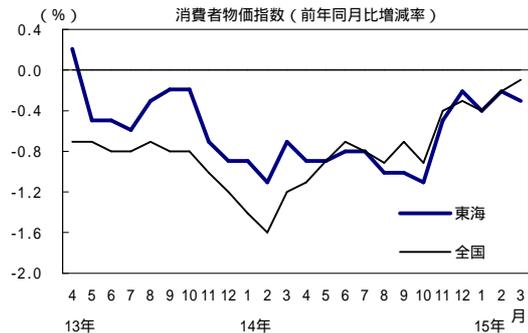
「自動車やIT関連などで相変わらず受注はおう盛だが、法改正によってアウトソーシング業界への新規参加が加速しており、受注価格の低下が止まらない(アウトソーシング企業)」など、「変わらない」とする回答が多くみられた。

(2) 企業倒産は件数、負債総額ともに減少している。

(3) 消費者物価指数は下落幅が縮小している。

企業倒産

|       | (件、億円、%) |       |        |         |       |
|-------|----------|-------|--------|---------|-------|
|       | 14年4-6月  | 7-9月  | 10-12月 | 15年1-3月 | 15年4月 |
| 倒産件数  | 466      | 471   | 417    | 453     | 134   |
| (前年比) | 8.1      | 2.8   | 13.1   | 1.5     | 15.2  |
| 負債総額  | 2,590    | 4,684 | 1,267  | 1,605   | 406   |
| (前年比) | 69.2     | 178.2 | 46.7   | 54.0    | 36.8  |



景気ウォッチャー調査(4月調査)[合計DI(特徴的な判断理由)]

<現状>

・イラク戦争の影響は全くなかったが、SARSの影響は甚大である。パッケージツアーや個人の航空券申込はぱったり止まっている。9月までの海外ツアーのキャンセル、延期は14件にのぼっている(旅行代理店)

<先行き>

・小型車の需要も減少しており、ボーナス商戦に向けて各社がキャンペーンを実施するが状況はかなり厳しい(乗用車販売店)

